

イノチオグループ

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>イノチオグループは2020年度に策定した中期経営計画にSDGsの視点を取り入れ、「環境保全型農業」「持続可能なバリューチェーン」「未来志向の社風づくり」「グローバルパートナーシップ」「農業イノベーション」といった5つの重点方針を経営の柱に位置付けました。 事業活動を通じ、お客さまをはじめとする農業者と地域社会の持続可能な発展と、全従業員の暮らしを支える経営を進めています。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	9	ICT、人工知能（AI）、ビッグデータなど、先端アグリテックを駆使したスマート農業の推進	ドローンオペレーター育成30名、大規模・低コストハウスの開発、栽培管理・労務データの可視化（期限：2022年3月末日）
	社会	4・5・8	デジタル化推進による働き方改革、女性管理職の登用、健康経営による社員の健康づくりなど	女性管理職・リーダー 20名、災害リーダー10名育成 グループ企業5社で健康経営優良法人を取得（期限：2022年3月末日）
環境	6・7・15	環境負荷の少ない農業用施設の開発、農薬・肥料の適正使用推進、農産物の食品安全・環境保全・労働安全等の持続可能性を確保し、よりよい農業経営、生産工程管理を実現する“GAP”の普及推進	GAPサポートサービスの履行2件、施肥提案、施肥設計可能人財育成、診断分析メニューの拡充、環境負荷の少ない商品への切り替え（期限：2022年3月末日）	